

磐城時報

日刊 廿五
編輯人 岡田 弘 成
印刷所 磐城時報印刷所
發行所 磐城時報發行所
電話 一四三三
廣告料 一行十四字 日五拾錢
訂費 一月三拾元 半年五拾元 一年九拾元
代售處 各郵便局

平小鐵道工事繰上げに 鐵道首脳部も賛成

陳情の一行きのふ歸る

平小鐵道促進その他の要務を帯びて上京した伏見町長、鈴木小各濱町長及び兩町委員は二十四日歸平したが、陳情の結果について伏見町長は語る。

「先づ鐵道省を訪ねて三土鐵道大臣、各川政務次官、板谷參與官、久保田次官と面會し昭和九年度から着工される事を繰上げて直ちに着工するやう陳情した處何れも賛成の意見を洩らしてゐるが、具體的の意見は聴く事が出来なかつた次に内務省を訪れ湯澤土木局長に平町國道舗装道路の陳情をなしたが之は差し當り實行不可能のやうな口吻であつた會に交付方を申請した。

鑛山監督局で 常磐炭礦視察

仙臺鑛山監督局書記官藤政課上席榎本勝造氏は去る十九日石城郡に出張し二十日入山、二十一日鑛城視察、二十三日好間古河、二十四日歸郷した。

四倉町で 救命銃備付

四倉水難救濟會では本年夏から溺れた者を救ふため救命銃を備へて視察報告演説會を開催する事になつたが、講演會終了後住吉屋本店で三氏の勞を稿ふたため盛大な慰勞の宴を振る由である。

平野菜市場問題 怠慢な縣當局

憤慨した經營者側で 認可を待たずに開設準備

平町字紺屋町本社長佐藤平氏ので一日も早く開設すべく移轉は茲に平町野菜市場設置の認可認可の指令を一日千秋の思ひを得、その後昭和六年二月二日待つてゐたけれども遂に前記の附で平町銀治町に移轉の申請を事情であるためこの上時日を縣當局に提出中であつたが一年過ぎ莫大な損害を蒙るに忍びず有半を経過した今日に至つても認可指令の有無に拘はらず野菜何等の指令に接せず、申請者は市場の建築に着手した。佐藤作相當の費用を投じて計劃したも平氏は語る。

滿洲視察の 兩議縣歸る

去月二十五日滿洲及び南支那方面視察の途に上つた縣會議員井上茂作、野崎滿藏兩氏は二十四日午後四時三十分平驛着列車で歸平したが、驛頭には官民數百名が出迎えた。

菜種栽培獎勵 郡農會で

石城郡農會では昨年度農家の副業として菜種栽培を奨励し錦、平窪、磐崎、好間、赤井、植田方部で栽培し好成績を納めたが本年は約百町歩の栽培を行ふことなつた。

滿鮮から歸朝した 三氏の報告演説會

二十八日聚樂館に開く

滿蒙南支那を視察した縣議井上茂作、野崎滿藏兩氏並に藤田大須賀吉氏宅に開催、左の諸件を協議する。

- 一、商況調査方に関する件
- 二、煙草小賣人指定書各組委員に手交方に関する件
- 三、昭和七年度組合費徴收方に關する件

工藝講習會 平町役場

では九月から三ヶ月間仙臺市で開かれる第十回工藝指導所員傳習生を募集中である。

四倉方部の 煙草商協議

平地方煙草小賣人組合四倉區二町四ヶ村四倉、久之濱、大久、大野、草野、大浦の委員會は二議を開いて決定する事になつた十八日午前より六十八日午後一時から開き伏見町長が大部額は七万九千六百八十圓で前年の説明をなした後委員と七千六百圓に比し三千六百八十八圓の増加、一戸平均は十六圓五十二日深夜更盗賊忍び入り衣類間昇子助演、「戦雲三日月黨」河津清三郎、望月禮子主演

磐越銀行預金者に 先づ五分を拂戻す

整理で一萬七千圓回収

平町磐越銀行破産管財人大嶺、増田兩辯護士は破産決定以來株主に對する未拂戻株金の拂込み並に不良債の整理に當つた結果一萬七千圓を回収したので七月五、六日ころ債権者に對して預金の五分を第一回拂戻しする事になつたが、預金者はたゞ五分でも四年振りで金の顔を見ることが非常に嬉しいのである。右に就て管財人側で語る。

枯れ切つてゐる預金者の懐を一日も早く潤したいと努力の結果一萬七千圓の回収を見た。債権總額は二十六萬圓であるから約七分の配當は出来る譯だが費用も相當か、つてることだから先づ五分だけを來月五、六日ころ拂戻したいと考へてゐる。

磐崎村長再選

石城郡磐崎村酒井村長は二十五日限りで任期満了するので二十二日郡警務科酒井村長は二十五日限りで任期満了するので二十二日村會を開き協議の結果再選され

本年度の戸數割は 前年より二千圓増

一戸平均十六圓五十八錢 町會で委員に附托

平町昭和七年度特別税戸數割賦本年の賦課人員は四千八百五人課額決定の平均額は二十五日午前で前年より四十七名増加、賦課後一時から開き伏見町長が大部額は七万九千六百八十圓で前年の説明をなした後委員と七千六百圓に比し三千六百八十八圓の増加、一戸平均は十六圓五十二日深夜更盗賊忍び入り衣類間昇子助演、「戦雲三日月黨」河津清三郎、望月禮子主演

内郷附近に 盜賊跋扈

▲内郷村大字高坂本木田勇三方へ二十四日深夜更盗賊忍び入り衣類間昇子助演、「戦雲三日月黨」河津清三郎、望月禮子主演

燕のお千代の盗品は 情夫が行商してゐた

千余圓の窃盜を自白

既報二十日平署に檢舉されたもので平署で搜索中福島市陣場町生れ内郷村大字宮子金坂居住窃盜前科四犯燕のお千代事竹田千代(五〇)の余罪に於て平署では嚴重取調べた結果後二時頃盜賊入りポルト二十本十貫等を窃取逃走した。

常設館便利

▲平 館「草草悲歌入江たけ子、市川春代、杉山昌三九、伊澤一郎、田村邦男主演」猿飛佐助諸國探査「海江田謙二、新妻英助、春日壽子主演」
▲恩愛五十兩「小川隆、山田五十鈴主演」
▲機關車「神田俊二、峰崎子主演」
▲須磨の仇「川島奈美子主演、住江田鶴子、絹川澄江助演、馬上豊に美少年、嵐菊助演、南光明、正宗新九郎、楠正夫、木下双葉、淺間昇子助演、「戦雲三日月黨」河津清三郎、望月禮子主演

四倉市場 藪市場況

長以下二ヶ村代表者十余名出縣縣當局に工事促進方を陳情した
二十四日取引

▲四倉市場
白蘭一九八貫、最高二圓六十一錢、最低二圓二錢、平均二圓三十三錢(二掛)
黃蘭六九四貫、最高二圓五十五錢、最低二圓十三錢、平均二圓四十錢(二十一掛)
▲植田市場
白蘭五二貫、最高二圓五十錢、最低二圓、平均二圓四十五錢(二十掛)
黃蘭二六二八貫、最高二圓六十五錢、最低二圓四十錢、平均二圓五十錢(二十一掛)

矢田川改修

石城郡鹿島、玉川二ヶ村を貫流する矢田川の水害に悩む二ヶ村民は數年來この改修を縣當局に迫つて居たが未だ改修工事の實現を見ず昨年の如き水害のため玉川村の住吉部落は遂に收穫無に陥つた事もあり工事の延引は二ヶ村の死活問題として兩村當局は協議の結果二十四日駒木根玉川村

常設館便利

▲平 館「草草悲歌入江たけ子、市川春代、杉山昌三九、伊澤一郎、田村邦男主演」猿飛佐助諸國探査「海江田謙二、新妻英助、春日壽子主演」
▲恩愛五十兩「小川隆、山田五十鈴主演」
▲機關車「神田俊二、峰崎子主演」
▲須磨の仇「川島奈美子主演、住江田鶴子、絹川澄江助演、馬上豊に美少年、嵐菊助演、南光明、正宗新九郎、楠正夫、木下双葉、淺間昇子助演、「戦雲三日月黨」河津清三郎、望月禮子主演

讀者論談

投 稿
歡 迎

青年諸君へ

(六) 四倉町 吉田松雄
この思索があるために、人間は今日猫も杓子も文化生活といふことを言ひ得られ、而してその生活をも行はるゝのである。電信、電話、汽車、汽船、電車、電燈、印刷機關等々の日常生活の道具等の直接吾々の生活に多大の利便を與へ居る發明は人間の思索の結晶したものと云わねばならん。その他文藝、教育、哲學、宗教、詩歌等の精神的文化生活の方面は特に人間の思索に負ふところが深い。これを想ふと人間に思索の必要なることが判るのみならず諸子自身の生活に對してもその生活善導して所謂文化生活を爲さんとするにはどうしても思索の必要は判ることである。青年諸子よ俺もさうであるが諸君と共にこれから實社會に乗り出して生存競争者となるのだ、今其のスタートを切る所である。何んの競争でも出發点を誤つても駄目だ、殊に實社會に出るに際してその出發点を誤ると、それこそ一生涯貧乏くちである。恐らく浮ばれない。所謂他人の後塵を拜して糟粕を嘗め、敗殘の憂き目を見ねばならん。

平町人事

▲出生
月見町一九茨城縣多賀郡日高村田尻一九七八根本正尚五男
豊、仲間町七二永戸村渡戸櫛木六五會田勇三女文字
▲婚姻
東京府北豊島郡南千住町三丁目一二七千葉縣東葛飾郡七福村若名五二坂富政雄(三〇)平町道匠小路二一山名ミツ(三〇)

例年の通り

氷水 始めました

多少に拘らず御用命御引立の程願上ます。

特製
アイスクリーム(山盛) 金 十 錢
あづきアイス(同) 金 五 錢
ミルクケーキ(同) 金 十 五 錢
ソーダ水 金 十 錢

其他氷水各種

出前迅速

平町一丁目

藤 寅

電話……一四二番

小學生用防水マント

入學進級のた子様方へ
完全なツルヤの
防水マントを
耐久三年以上

二 尺 一圓四十錢
二尺二寸 一圓六十錢
二尺四寸 壹圓八十錢
中ゴム合セ別誂マント
進入生用
男 二 圓三十錢
女 二 圓三十錢
平 四 ツルヤ 電一四〇

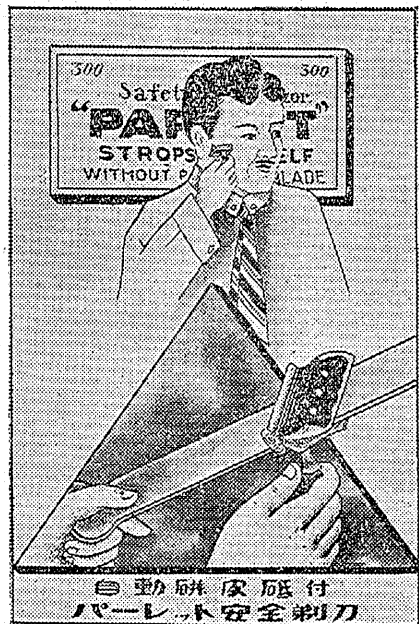
滋養、強壯劑として愈々好評
偉大なる薬酒「粟守酒」

朝の一盃は精力の源泉、晩の一盃は睡眠の助力
栗守酒特約店 大平屋薬店
代價八日分壹圓九十錢 平町一丁目(電四六二)

宣傳中半額割引

明日とゆわす今すぐ電六八〇番へ
パールト安全剃刀 定 價 金 一 圓 八 十 錢
自動研皮砥付半額割引 金 九 十 錢
一枚の及で永久に使用出来る
バリカン、剃刀は……平驛前角へ
詰かえホマード、クリームフケ取り香水は……芳香園
白衣と鏡……大小取揃へて有る理髪器具店へ

新案特許權
一一五一一五
二二五一一五
六二八一一四



耳鼻咽喉科専門
氣管食道科

病室完備…自炊の便あり
平町南町 大和田醫院
電話一七〇番

魚清自慢の
特製 みつ豆

例年の通り始めました
多少に拘はらず—出前迅速
平町一丁目
魚清食堂部
電話六三三番
◎出前持入用

在滿將士慰問のため出發の際は御見送り下され且つ任務を終つて二十四日歸朝の際は御多用中多數出迎被下有難く奉深謝候一々拜趨御禮申上ぐ可き筈の處不取敢以紙上御禮申上候
六月二十五日

井上茂作
野崎滿藏

平看護婦會

看護婦派出の需めに應じます

レコード破りの石炭大特賣

磐城炭礦二等級炭

正味十貫匁一俵金卅錢也

「品が良く」「値は安く」をモットーとする當店は此度超破格の格安石炭を販賣開始致します
値が安くとも品は悪くはありません
磐城炭礦の處分的大掘出物です、品物の無くならない中に御注文下さい
配達は一俵より致します

御注文は

電話三三七番へ

平停車場前
阿部石炭商店

貸切、御用命ハ

ゼヒ 三井自動車部へ
電話六八五番
乗合は 好間・合戸・澤渡方面行